



国際関係学部誕生から30年

日本大学
国際関係学部

校友会々報

第40号

静岡県三島市文教町2-31-145
日本大学国際関係学部
校友会

平成二十一年度 常任幹事会・幹事会開催

◎常任幹事会

平成二十一年六月二十七日(土)
十六時から、国際関係学部校舎十五号館二階一五二三教室において開催された。相田信次会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、

幹事会提案事項について田中由雄幹事長及び山瀬匠常任幹事会計担当から各項目ごと詳細にわたり説明があり審議された。

◎幹事会

平成二十一年六月二十七日(土)
十七時三十分から、常任幹事会に引き続いで幹事会が開催された。藤本文彦常任幹事の司会で進行され、相田信次会長挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には馬場妙子幹事、副議長には甲斐幸博幹事、書記には勝又義博常任幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

平成二十一年度事業報告
平成二十一年度決算報告

監査報告
新幹事に関する件

平成二十一年度予算(案)
平成二十一年度事業計画

(案)

平成二十一年度事業報告
国際関係学部校友会中・長期計画(案)

会報(第四十号)発行について
本部校友会報告

その他

田中由雄幹事長から、平成二十年度事業報告がなされ、続い

て平成二十年度決算報告が山瀬

匡常任幹事(会計担当)から報告、染谷徳昭会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。校友への通知等を蜜にするため、平成二十一年度は国際関係学部五名・食物栄養学科五名が新幹事として、事務局から推薦があり承認された。

統いて平成二十一年度事業計画(案)については田中由雄幹事長から、また平成二十一年度収支予算(案)については山瀬巧常任幹事(会計監査)から提案され、審議の結果二議案とも承認された。国際関係学部校友会中・長期事業計画(案)については柴田正顧問から三項目の提案がなされた。その内の準会員への奨学生について出席者から学部側から正式文書による申込を頂いたら如何との意見が出され、計画三項目については総会にて再提案することとなつた。

田中由雄幹事長から、会報(第四十号)発行について例年のところより学部関係2名・校友会関係3名並びに校友会奨学生授与者7名に原稿依頼をしたい旨の報告がなされた。本部校友会報告として相田信次会長から先に開催された、校友会本部会長・副会長会議並びに常任委員会での議案について報告がなされた。次に柴田正顧問から校友会会館の地鎮祭が六月二十九日挙行・七月着工される旨報告がなされた。

新たなチャレンジ



国際関係学部長

佐藤 三武郎

校友の皆様におかれましては、ご清栄のことと存じます。

三島キャンパスは、日本大学三島高等学校が創設50周年、国際関係学部が30周年と、大きな節目を迎えました。昭和21年に予科が創設され、全体では60周年という歴史を刻むことができました。これも、ひとえに校友の皆さんの協力と支援によるものと考えています。

毎年、11月には富桜祭が開催されますが、学泉寮の皆さんがあつままり、寮歌や応援歌を歌います。80歳近い予科生の元気な姿を見て、母校日大の繁栄と隆盛を心から祈る次第です。母校あつての人生と感じている校友が多く、嬉しい限りであると同時に、学部長として責任を痛感する次第です。

歐米の大学をよく視察しますが、歴史と文化が古い国の大学ほど、校友の活躍が目覚ましく、大学への帰属意識が強烈です。良き古き時代を懐かしむだけで

はなく、社会参加への意欲が旺盛です。これぞ、まさに大学人としての誇りであり、榮誉であると信じます。

ケンブリッジ大学やオックスフォード大学を訪れると、校友の愛校心が旺盛なのに驚かされます。大学のグッズ（記念品）であるネクタイやブレザーを身にまとい、意氣揚々としている姿には、微笑ましさと逞しさがあります。

日大人は、如何でしょうか。

欧米とは異なりますが、校友の絆には強いものがあります。全国の校友会に出席すると、その活躍の目覚ましさに関心させられます。

三島キャンパスで青春時代を送った校友は、富士や箱根を借景とした美しいキャンパスでの思い出を語ります。三島湧水の美しさ、樂寿園の緑の世界、さらには「希望の森」や「思索の森」の光景を話題にします。日本人は、特に回帰意識が強く、頑張ろうではありませんか。

校友の皆さんのご支援とご協力を心から切望する次第です。

母校や故郷を思い、必ず原点である心の風景に戻ろうとします。その点、校友の皆さんにとっては、日本大学は心の風景です。これからも母校日大、心の故郷である三島キャンパスを愛し続けて欲しいと思います。

校友会会報も今回で40号を発行することとなりました。これも、ひとえに会報発行に關係する方々のご努力のお陰と思います。校友の皆様の活躍に刺激され、私は三島キャンパスの責任者としてさらなるチャレンジをするつもりです。

1・校友との結びつき。2・学組

山田顯義の教えである「文武両道」の精神の普及。3・国際交流の増進と深化。4・生涯学習の観点からの市民の受け入れ、などです。

これらの具体的な企画と実行には、校友の皆さんの支援と協力が欠かせません。実務経験の豊かな校友の皆さんには、「事の実績を踏まえ、いかに『事を成すか』の方策と知恵がありま

す。大学の教職員と校友が手を携えたら、いかなる障害も困難も克服できると信じます。新たな時代を担う人材の育成が、大学の使命です。校友の皆さん、夢の実現に向けて、手を携えて

校友の皆様、ご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

平素は、本学のために何かとご尽力いただき誠にありがとうございます。心より厚く御礼申しあげます。

私も三島キャンパスに赴任し2年目を迎えました。このキャンパスには高校時代そして大学1年まで通算4年間通い、学びましたので、当時のことを思いだし懐かしい気持ちで仕事をさせていただいております。時々は恩師柳川先生にもお目にかかることができ感謝しております。

学生時代は柔道部に所属し、西島先生、及川先生のご指導を受け、稽古に励みましたが、よく叱られました。時代の流れでどうか、先生の叱り方も当時と今ではずいぶん違うなど感じることがあります。

宿場町としての古い歴史を持ち、箱根と伊豆の山々に囲まれ、近くには駿河湾を望み本当にこの地は自然環境に恵まれており

「国際関係学部の発展に全力をそそぐ」



国際関係学部事務局長

秋山 正

ます。この豊かな自然が学生の勉学には絶好の環境であり、人の和を形成する一つになつてゐるのかもしれません。

年に一度このキャンパスで共に青春を謳歌した仲間たちと会って、青春時代を語り合う会を行なっております。この青春時代を語り合う会を運営する組織として、三島キャンパスは今でも彼らにとって思い出多き忘れられない地になつてゐるようです。

1979（昭和54）年4月に「国際関係」という名称の学部が、我が国で最初に創設され、1958（昭和33）年4月に産声を上げた日本大学三島高等学園も昨年50周年を迎えました。それぞれ創設にご尽力を頂いた先人の皆様には改めて深い敬意と感謝を申し上げたいと思います。この意義ある節目の年に本学に縁を持つことができ本当に幸せだと思います。

世界は今、情報通信交通手段の驚異的な発達で非常に「狭く」

なっております。いわゆるグローバル化です。一方では地球温暖化など地球環境の変化、そして少子高齢化など取り組まなければならぬ問題も多々あります。

その中で、この地球環境を守るためにも国際関係学部の担う役割は重要だと思います。学生には、ここで大いに学び知識を得て、国際人として社会で活躍してくれることを期待します。

日本大学の目的および使命の中に、「世界の平和と人類の福祉」とに寄与することを目的として広く世界に知識をもとめて心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする」とあります。これからも本学の建学の精神を忘ることなく、国際的な視野に立ち、自信と誇りをもつて世界に羽ばたく人材を輩出するため、教職員一丸となつて努力する所存であります。

校友の皆様方のより一層のご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも国際関係学部、短期大学部、日本大学三島高等学校、中学校に対し温かいご指導ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

ここで学祖山田顕義氏の略歴を紹介します。

天保15(1844)年10月9日、萩藩主

山田顕行の長男として萩(山口県萩市)で生まれる。14歳で松下村塾へ入門し、吉田松陰の薰陶を受ける。戊辰戦争で

2期目にあたり



国際関係学部校友会会長

相田 信次

習内容や就職支援体制など、知りたい情報に直ぐアクセスできます。NUIPは、受験生ばかりではなく、校友にとっても日々進化していく日本大学の姿を知ることができます。

是非ご利用下さい。
結びに、校友の皆様からの変わらぬ
助言とご協力を受け賜ります。宜しくお願い申しあげます。

集いの広場



国際関係学部校友会副会長
国際関係学部同窓会会長

宮下 公雄

校友の皆さまにおかれましては多方面でご活躍のほどお喜び申し上げます。国際関係学部国際関係学科1期卒業の宮下公雄と申します。国際関係学部校友会も、相田信次校友会会长柴

田正顧問 西村美恵子顧問 田中由雄幹事長 他諸先輩のご尽力により活躍の場を他学部同窓会との交流へと大きく移してお

ります。三島同窓会から歴史と伝統を築き大きく発展させて下さる諸先輩方には深く感謝申し上げます。

昨年11月国際関係学部同窓会が、三島キャンパスで開催されました。現状での問題点が報告される中で、国際関係学部同窓会ホームページがほとんど機能しておらず、ソーシャル・ネットワーキングサービス(SNS)機能の付いたホームページに移行したいと言ふ意見が出ました。

また、国際関係学部創部30周年を迎えるにあたり同窓会としても現役学生に喜んでいただけ

校友会の皆様に置かれましては益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。本年度は役員改選時に当たり2期目の校友会、会長を仰せつかり身の引き締まる処です。2期目の校友会活動の目標は1期目で行ってきた事業の推進と強化を図つて参ります。本年度の事業として国際関係学部と校友会との合同で優秀な新入生に対して他大学には無い独自な奨学金制度(交通費又下宿費などを平成22年度より実施)により多くの優秀な生徒を入学させ、国際関係学部の学校運営に寄与して参りますので校友の皆様方に置かれまして一人でも多くの受験生を紹介してください。

日本大学は西暦1889年10月4日に日本法律学校(現法学部)を学祖山田顕義氏が創立して今年で120周年の記念すべき年を迎えると共に、今春3月の卒業生の校友が100万人を超えました。ここで学祖山田顕義氏の略歴を紹介します。

天保15(1844)年10月9日、萩藩主山田顕行の長男として萩(山口県萩市)で生まれる。14歳で松下村塾へ入門し、吉田松陰の薰陶を受ける。戊辰戦争で

健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも国際関係学部、短期大学部、日本大学三島高等

学校、中学校に対し温かいご指導ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

ここで学祖山田顕義氏の略歴を紹介します。

天保15(1844)年10月9日、萩藩主

山田顕行の長男として萩(山口県萩市)

で生まれる。14歳で松下村塾へ入門し、吉田松陰の薰陶を受ける。戊辰戦争で

る事は無いかと活発な意見がでました。

国際関係学部一期の卒業生である、川口智彦先生に30周年プロジェクトの中心について頂き検討委員会を重ねてまいりました。その結果、学生がくつろげる場所が少ないと言いました。それから、時代と共に多くの校舎が建ち現在では、8号館前、15号館前のわざかな場所が学生の憩いの場になつていると

意見が多く寄せられました。振り返りますと我々がお世話になりました。30年前、緑豊かな学園でした。インターネット上の広場（国際同窓会ホームページ）と実際の広場 噴水公園 二つのプロ

ジェクトを柱に更に幹事会を重ねさせていただきました。

今年4月1日より国際関係学部SNSが開設され、学生時代の思い出や近況を書き込むことができる「日記機能」。部活やサークルの連絡に使える「コミュニケーション機能」など、卒業生の交流を深めるさまざまな機能を提供する事ができるようになりました。これから周知には、まだ時間がかかりますが、当面現役の先生、助手、職員の皆様の力を借り、学生とのコミュニケーションを形成して頂きたいと思います。

(<http://www.ir-nihon-u.jp/sns/>)
国際関係学部同窓会ホームページ
国際関係学部同窓会ホームページ
の方を広く募集しております。

でもたどり着くことができます)

また、懸案であつた噴水公園も、この会報が発刊される10月までには除幕することが出来ると思います。インターネット上のコミュニティ、学内のコミュニティ、二つのコミュニティを

今後学生卒業された皆様の憩いの場として役に立てて頂ければと思います。

また、国際関係学部も少子化の中、より魅力のある学部に開する為に三島駅北の再開発地に新たな校舎の建設の話も進んでおります。これから国際関

係学部校友会としても、現状行われている箱根駅伝など体育会系の応援活動、各部会の活動、現状の特待生への奨学金制度の他、

更に踏み込んだ学生への援助活動など、果たさなければならぬ役割も大きくなると思われます。

今後、三島同窓会から国際関係学部校友会に移行した諸先輩、各短大学部の会長の皆様と意見を合わせながら、国際関係学部の学生の皆様のパックアップに力を入れて行きたいと思います。国際関係学部同窓会は、東京市ケ谷アルカディア開催、三島キャンパス開催の二か所を1年毎に交互に行つておりますが、特に各学部との校友会との交流も東京での活動が多いことから、東京での活動を中心に行つておりますが、特に幹事会を行つております。

時の流れは早いもので、三島キャンパスを離れて三十有余年が経ちました。私は、夜まで各クラスの連絡委員や学友会のメンバー、大学当局など多

くの世代ですが、そろそろ子育ても終わる校友の皆様も多いのではと思います。どうぞ、ホームページのコミュニティからでも国際関係学部校友会事務局まで、ご連絡を頂ければと思います。

我々の世代ですが、国際関係でもたどり着くことができます)でもたどり着くことができます)

盛んに開催されました。私は、コンピュータ研究会の部長として、クラブ活動の連合体の学友会メンバーに属していました。そして、私は、管財部長として、大学祭に携わる事が出来た事を今でも誇りに思っています。そこで、私は、管財部長として、大学祭に携わる事が出来た事を今でも誇りに思っています。

大学祭当日は晴天に恵まれ多くの市民や家族連れが来場されればと思います。

最後になりますが、国際関係

学部同窓会ホームページ、噴水公園二つの集いの広場を通じて、多くの友人、先輩や後輩との交流に多いに役に立てて頂け

ればと思います。

大学祭当日は晴天に恵まれ多くの市民や家族連れが来場されればと思います。

最後になりますが、国際関係の仲間と苦労を共にし、大学祭開催に漕ぎ着ける事が出来ました。その後、多くの友人、先輩や後輩と共に、これまで親交が続いており、多くの市民や家族連れが来場され、盛大に開催されました。私は、コンピュータ研究会の部長として、クラブ活動の連合体の学友会メンバーに属していました。そして、私は、管財部長として、大学祭に携わる事が出来た事を今でも誇りに思っています。役職のもとに実行委員会の一員として、私は、銀杏並木の葉が緑から黄色に変わる美しさが今でも目に焼きついており、三島駅から学園通りの銀杏並木を歩きながら、お互いに青春の一時期を過ごした学園に足を運んでみてはいかがですか。きっと貴方が新しい思い出が甦つてくるかもしれませんよ。

最後にこの役職を任せられました。事の責任を感じると共に皆様のご期待に添えるよう全力を尽くす所存であります。母校と日本大学国際関係学部「校友会」の益々の発展をお祈り致します。

最後になりますが、国際関係の仲間と苦労を共にし、大学祭開催に漕ぎ着ける事が出来ました。その後、多くの友人、先輩や後輩と共に、これまで親交が続いており、多くの市民や家族連れが来場され、盛大に開催されました。私は、コンピュータ研究会の部長として、クラブ活動の連合体の学友会メンバーに属していました。そして、私は、管財部長として、大学祭に携わる事が出来た事を今でも誇りに思っています。役職のもとに実行委員会の一員として、私は、銀杏並木の葉が緑から黄色に変わる美しさが今でも目に焼きついており、三島駅から学園通りの銀杏並木を歩きながら、お互いに青春の一時期を過ごした学園に足を運んでみてはいかがですか。きっと貴方が新しい思い出が甦つてくるかもしれませんよ。</p

校友会長賞受賞者



国際文化学科四年

永野 映吏可

日本一高い富士山を身近に感じ、重厚な歴史を抱え、さらに新幹線などの主要な交通網も整備されている三島。そのような最高の環境に位置する「日本大学国際関係学部」。非常に濃く充実し過ごした大学生活も、卒業まで残すところ半年になつてしましました。

私にとっての大学生活は「成長した」この一言に尽きる日々でした。世間のあれこれを何も知らずに入学した私でしたが、この三年半の大学生活は、思考力、生活力、人間関係を学ばせ、それは様々な機会と経験を巡り合わし、「私」という人間性を高めさせてくれました。

そのような成長の鍵となつたのが、三年間所属していた「学生会CSA」でした。友人に誘われ、部活説明会で先輩が優しかったからという、特に目的もなく入部したため、安樂的な大学生生活を描いていた私にとって、

ここでの活動の忙しさと経験は衝撃的でした。しかし、それは、今までに経験したことのないものだったこともあり、私に多くの挫折を味あわせ、その分多くの仲間、大学職員、そしてその方々に温かく支えられることを実感し、多くのことを挑戦することができました。だからこそ、三年次には委員長に立候補し、学生会CSAへの恩返しと先輩たちが残したものを受け継ぎ、多くの国際関係学部・短期大学部の学生が充実した大学生活を送る手助けになりました。今春には、その任を全うすることでき、現在は英会話研究会、国内外のボランティア、卒業記念委員会など、相変わらず、がむしゃらに動き回っています。

「向上やまざる大学日本」:われらが行く手の光を見よや」と校歌にもあるように、この大学は、社会人への階段を着実に登らせ、最大限の成長を与える環境を持っています。

最後に日本大学を通じ、これら感謝を結びとし、この場をかりて深く御礼申し上げます。

国際文化学科四年

勝又 智子



大学に入学したばかりの頃は、学生の多さとキャンパスの広さに驚き、4年間ちゃんと過ごせるのかという漠然とした不安に襲われました。しかし入学して一ヶ月経つた時にはそのような不安はほとんどなくなっていました。

その理由は「文化会執行部」に入部したからだと思います。中学・高校では全く経験したことになかった「サポート」が主な活動だった文化会執行部では、一つ一つの出来事が大きな刺激でした。自分の趣味のための活動ではなかったので、自然と周りの人達に対する気配りが身についていました。また、関わる団体数が多くなったため、友人もたくさんできました。

私は約一年文化会執行部の委員長を務めました。この経験で私は団体のトップに立つことがどれほど難しいかを学ぶことができました。しかしその時

に得た達成感は一生忘れることはないでしょう。他団体の活動の統括やイベントの企画・運営は決して一人ではできません。仲間がいたからこそ私は最後まで活動してこれました。

国際交流学科四年

西岡 基



今から三年前、私は日本大学国際関係学部の学生として門を潜りました。ここには様々な可能性があると信じ、高校より続けてきた柔道に加えて、常に新しい事に触れる毎日でした。

体育会執行部へ入るきっかけを作ってくれたのは、部活の先輩でした。私が二年生になって間もない時の事です。その当時はゼミナールや他の授業が徐々に忙しくなる時だったので、あまり活動できませんでした。部員は当時私と後輩一人。あまりにも不利なスタートだったからです。

私の不安は、やはり仕事にも大きく影響しました。学内の公認体育会系団体の統括・管理は、私が想像していたものよりずっと大変な仕事で、何かを行って失敗し、その度に落ち込む日々でした。私はこれまで、人の上に立つ事を

あえて避けてきたので、団体の長という責任ある職に、プレッシャーを感じていたのかも知れません。「どうして自分が委員長をやっているのだろう」と自問自答をした。つまづきながらも一步一步前進していく内に、私は自分自身の中に変化を感じるようになりました。それは「自分がしっかりと活動する事ができない」という思いと、「これは自分を成長させる試練だ」という思いでした。不器用ながらも日々の仕事に精一杯取り組む事で、周りの信頼を得て、無事に終える事ができました。

しかしそれは、不器用な私を暖かく、厳しく見守って下さった先生方、先輩方、最後まで私と共に活動してくれた同期や後輩、体育会執行部を常に気にかけてくれた学生会CSA、文化会執行部、放送部、そして富桜祭実行委員会の御援助無しには、決して成し得なかつた事だと、感謝を申し上げます。



国際交流学科4年

緒方 義明

大学生になる前の私は、あらゆる常識に縛め付けられ、自分がこれまで見てきたもの、感じてきたもの、そして教わってきたこと全てが常識だと思っていました。しかし、大学に入学し、富桜祭実行委員会に入ってからは今までの私の常識を打ち破られる出来事ばかりでした。実行委員会で知り合った人たちは様々な都道府県から来ていました。もちろん地方によつて、方便や価値観などの違いがあります。そのような常に、新しい情報が入ってくる環境に身を置いたことがなかつたので、馴れることが大変でした。しかし、学校へ行って話したり、聞いたりするだけで新発見の連続だったので、今までにない一日一日の充実感に溢れていきました。

小学校・中学校は義務教育で、高校に関しては自分で決めたの

一人暮らしをするには莫大な費用がかかるにもかかわらず、お金に何不自由なく過ごさせてくれた親には感謝をしてもらいました。このように私は、実家から近い大学へ通う安全な道ではなく、実家から離れた大学へ通う危険な道を私は選びました。

大学で知り合つた仲間、教職員の方々、地域の方々と触れ合い、常に新しい発見がある環境に身を置いたことによって、今までの自分の常識は常識ではない、常に新しい発見がある環境度でも駅伝のメンバーに入り、

ただ大学生最高峰の女子駅伝でもあり、テレビで生中継される全日本大学女子駅伝に出場して、親か高校の陸上部の先生に喜んで欲しい一心で本校に入学し、陸上競技部に入部しました。入学した頃は四年間のうちに一

度でも駅伝のメンバーに入り、親や顧問の先生に報告する事が自分の大学生活での目標でした。

今では最上級生になり、キャプテンという大役を任せられ、大学生のトップレベルで戦えるようになつたことは自分でもとても驚きです。又、卒業後に実業団というプロの道に進むまでに成長できたことは本校での四年間

今は大学生活もとても充実し、勉強においても部活においても全力で励むことができています。このような自分の納得できる生活が送れるのも親や高校の顧問の先生を始め、日々応援してくださいとさつてある大学の先生方や親友、寮の管理人さん、近所の方々などたくさんの方々が支えがありました。

今は大学生活もとても充実し、勉強においても部活においても全力で励むことができています。このような自分の納得できる生活が送れるのも親や高校の顧問の先生を始め、日々応援してくださいとさつてある大学の先生方や親友、寮の管理人さん、近所の方々などたくさんの方々が支えがありました。

今は大学生活もとても充実し、勉強においても部活においても全力で励むことができています。このような自分の納得できる生活が送れるのも親や高校の顧問の先生を始め、日々応援してくださいとさつてある大学の先生方や親友、寮の管理人さん、近所の方々などたくさんの方々が支えがありました。



国際関係学科四年

後藤 奈津子

たことは肉体的に精神的に辛く、何度も辞めたいと思いませんでした。そのような経験から「大学は自分で決めたい」という強い想いから自ら日本大学国際関係学部への入学を決心しました。さらに、実家から遠く離れた大学へ行くことで、生まれ初めて親もとを離れ、自分でどれだけ生活できるのか、自分を試すこともできました。

そんなある日、泣きながら高校の先生と電話をしたことが自分の大きな転機となりました。あの日以来たくさんの思いを学ぶことができ、精神的に一番苦しかった時には気付けなかつたけれど自分は一人ではなく、待つてくれている人達がたくさんいることを知りました。自分の高校は陸上が有名なわけでもなく、特に実績も持つていません。でしたが、信念を持って行動すれば必ず実現できることも学びました。

て「全国B級グルメグランプリ
部門コンテスト」「奥津あん
こコンテスト」「西日本インス
タントラーメンコンテスト」な
どの様々なコンテストで賞を受
賞することができました。忙し
くも仲間と供に過ごした時間は
とても充実しており、私にとつ



専攻科食物栄養専攻二年

青木 裕也

私は、現在専攻科二年に在籍し、将来管理栄養士になるための勉強をしています。三年前、本学短期大学部食物栄養学科に入学した頃の私は、卒業後に栄養士の資格を活かした仕事につきたいと思っており、進学しようと考へてはいませんでした。専攻科に進学する思いを抱いたのは、短大二年生になり、友人から神戸ゼミに入らないかと誘われたことがきっかけでした。神戸ゼミでは「地域食材を活かした料理開発」をテーマに取り組んでいました。ここ数年で地域食材を利用した様々な料理を開発してはコンテストに応募しており、数々の賞を受賞していました。そんな活発なゼミに入った私の日常はとても忙しくなりました。

放課後、学校に残つてはコンテストに応募する料理を考え、という試行錯誤する日々が続きました。その成果もあつ

てかけがえのないものとなりました。また、そのかけがえのない時間を与えてくれた「環境」や「出会い」の大切さを強く感じました。充実した日々を過ごす中で私は、この学校で食に関する知識をさらに深めたいと思ふ専攻科に進学することを決めました。

最後に、今こうして食に関する勉強に励んでいる私がいるのも、面倒を見て下さった先生方や先輩達、併に過ごした仲間達のおかげです。そして、その出会いを与えてくれた日本大学という環境に感謝しています。本当にありがとうございました。



専攻科食物栄養専攻二年

小林 可南子

私は、食に興味があり、短期大学部食物栄養学科に入学しました。短期大学では、神戸ゼミへ入り「地域の特産品を使つた料理開発」をテーマに取り組みました。一般の家庭の食卓で簡単に作れる料理や保存食・インスタント食品からでもできる豪華な料理まで、栄養価を考慮して、料理の研究をしました。神戸先生には様々な挑戦の場を頂き、いくつものコンテストに料理を出品しました。コンテストの準備では、直接地域の人達と食材を選び、一緒に料理を作ることで改めて料理の楽しさを感じました。結果的にグランプリや賞を頂くことができました。また、テレビやラジオを通じて、広く一般の人達に料理の楽しさを伝えることができました。

短大卒業後、栄養士の資格を持つて、更に食の知識を深め管理栄養士を目指すために専攻科へ入学しました。専攻科は少人

数制で、各々が違ったテーマをもち、ゼミでの特別研究に励んでいます。私は吉田ゼミへ入り

国際関係学部同窓会から
噴水を寄贈

旅館の食事に「健康」というキーワードをあて、短大での料理の勉強を活かしつつ研究を行っています。

四年間の大学生活を通して、尊敬する二人の先生に出会えたこと、先生方が私に与えてくれた数々のチャンスによつて、私は大きく成長することができます。また、これまでいくつもの苦難を乗り越えてこられたのは、この学校で出会った素敵な仲間たちのおかげです。短大と専攻科での挑戦と実績と仲間が、今私の自信となっています。

大学生活で学んだことを活かして、社会人になつてもひとりでも多くの人に食べる喜びを伝えたい 것입니다。本当にありがとうございました。



同窓会では国際関係学部創設三十周年を記念して、15号館南側の中庭に噴水設置し大学に寄贈しました。これは学生の憩いの場として座って語り合い、くつろげるスペースになればとの思いで寄贈しました。

平成 20 年度 事 業 報 告

1 国際関係学部校友会会长賞授与

平成20年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。

・校友会会长賞（副賞：記念品）は、国際関係学部5名に贈られ平成21年3月25日の卒業式当日、ホテルパシック東京において授与式が行われた。

・校友会会长賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部5名及び短期大学部2名に贈られ平成21年4月4日開講式当日授与式が行われた。

①校友会会长賞（副賞：記念品）

羽田 弥咲（国際関係学科4年） 篠原 直人（国際関係学科4年）

笠原菜央子（国際ビジネス情報学科4年） 高橋 絵理（国際交流学科4年）

古山 結子（交際交流学科4年）

②校友会会长賞（副賞：奨学金）

永野映吏可（国際文化学科3年） 勝又 智子（国際文化学科3年）

西原 基（国際交流学科3年） 諸方 義明（国際交流学科3年）

後藤奈津子（国際関係学科3年） 青木 裕也（専攻科食物栄養専攻1年）

小林可南子（専攻科食物栄養専攻1年）

1 日大スポーツツヅ

1,500部を平成20年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。

1 会報発行

会報39号を平成20年10月1日付け19頁3,200部を発行した。

1 各科同窓会等補助

①桜栄会会報発行及び名簿作成に対する補助。②大学の体育会に対する補助。

③箱根駅伝応援に対する補助。

1 常任幹事会

平成20年6月14日（土）17時から、日本大学国際関係学部校舎15号館5階において開催した。

1 幹事会

平成20年6月14日（土）17時30分から、日本大学国際関係学部校舎15号館5階において開催した。

1 総会並びに懇親会

平成20年7月28日（日）15時から、日本大学国際関係学部校舎8号館2階において開催した。

1 箱根駅伝応援

平成21年1月3日（火）復路スタート応援地点で応援した。また、平成21年1月2日（往路）3日（復路）の両日、国際関係学部体育会ダンス部・文化会吹奏楽部が箱根で応援に花を添えた。

平成 20 年度 収 支 決 算 書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
獎 学 費	520,000	525,590	5,590	会 費 収 入	14,560,000	14,552,000	△ 8,000
日大スポーツ購入費	450,000	360,000	△ 90,000	雜 収 入	376,838	489,851	113,013
校 友 会 報 発 行 費	230,000	268,800	38,800	前 受 金 収 入	0	0	0
各 科 同 窓 会 等 補 助	1,700,000	1,700,000	0				
学 生 团 体 補 助	4,200,000	3,895,000	△ 305,000				
總 会 並 び に 懇 慶 会 費	800,000	434,162	△ 365,838				
箱 根 駅 伝 応 援 補 助	400,000	392,650	△ 7,350				
本 部 校 友 会 会 費	470,000	470,000	0				
卒 業 記 念 品 費	4,040,000	3,349,500	△ 690,500				
會 議 会 通 信 費	800,000	283,342	△ 516,658				
事 務 搬 費	200,000	204,360	4,360				
雜 費	650,000	588,924	△ 61,076				
予 備 費	770,000	490,375	△ 279,625				
	100,000	0	△ 100,000				
備 計	15,330,000	12,962,703	△ 2,367,297	計	14,936,838	15,041,851	105,013
基 金 繼 入 額	0	0	0	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金	12,660,000	15,132,310	2,472,310	前 年 度 繰 越 金	13,053,162	13,053,162	0
(前 受 金)	(0)	(0)	(0)				
(繰 越 金)	(12,660,000)	(15,132,310)	(2,472,310)				
支 出 の 部 合 計	27,990,000	28,095,013	105,013	収 入 の 部 合 計	27,990,000	28,095,013	105,013

貸 借 対 照 表

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	40,132,310	基 金	25,000,000
定 期 預 金	0	前 年 度 繰 越 額	(25,000,000)
		次 年 度 繰 越 金	(15,132,310)
		繰 越 金	(15,132,310)
合 計	40,132,310	合 計	40,132,310

基 金 の 内 訳

(単位:円)

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	合 计
行 事 等 積 立 金	25,000,000	0	25,000,000
計	25,000,000	0	25,000,000

平成 20 年度収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 21 年 6 月 27 日

会計監査 染谷徳昭印
宮川昭守印

平成 21 年度 事 業 計 画

- 1 国際関係学部校友会会長賞授与(副賞:記念品もしくは奨学金)
 日本大学国際関係学部及び短期大学部を平成22年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。
 ・校友会会长賞並びに記念品 国際関係学部 4年卒業予定者 各学科1名
 短期大学部 2年卒業予定者 各学科1名
 ・校友会会长賞並びに奨学金 国際関係学部 各学科2・3年生 各学年1名
 短期大学部 各学科1年生 各1名
- 1 日大スポーツ07
 1,500部を平成21年4月国際関係学部・短期大学部(三島)各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
 会報40号(平成21年9月1日付)18頁3,200部。
- 1 各科同窓会等補助
 ①各科名簿編集の推進及び各科同窓会行事に対する補助。
 ②大学体育会・文化会に対する補助。
 ③箱根駅伝応援に対する補助。
- 1 常任幹事会
 平成21年6月27日(土)16時から、日本大学国際関係学部校舎15号館2階において開催する。
- 1 幹事会
 平成21年6月27日(土)17時30分から、日本大学国際関係学部校舎15号館2階において開催する。
- 1 総会並びに懇親会
 平成21年7月18日(土)15時から、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 箱根駅伝応援
 平成22年1月3日(日)復路スタート応援地点で応援する。また、平成22年1月2日(土)往路ゴール応援地点及び平成22年1月3日(日)復路スタート応援地点で国際関係学部体育会所属(ダンス部)・文化会所属(吹奏楽部)の学生が応援に参加する。

平成 21 年度 収 支 予 算 書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額
奨 学 費	520,000	520,000	0	会 費 収 入	14,630,000	14,560,000	70,000
日大スポーツ購入費	360,000	450,000	△ 90,000	雑 収 入	406,260	376,838	29,422
校友会報発行費	270,000	230,000	40,000	前 受 金 収 入	0	0	0
各科同窓会等補助	2,000,000	1,700,000	300,000				
学 生 団 体 補 助	2,200,000	4,200,000	△ 2,000,000				
総会並びに懇親会費	600,000	800,000	△ 200,000				
箱根駅伝応援補助	500,000	400,000	100,000				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
卒業記念品費	4,020,000	4,040,000	△ 20,000				
会議会合費	600,000	800,000	△ 200,000				
通信運搬費	200,000	200,000	0				
事務費	600,000	650,000	△ 50,000				
雑費	500,000	770,000	△ 270,000				
予備費	100,000	100,000	0	計	15,036,260	14,936,838	99,422
計	12,940,000	15,330,000	△ 2,390,000				
基 金 繰 入 額	0	0	0	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金	17,228,570	12,266,838	4,961,732	前 年 度 繰 越 金	15,132,310	12,660,000	2,472,310
(前受金)	(0)	(0)	(0)				
(繰越金)	(0)	(12,266,838)	(4,961,732)				
支 出 の 部 合 計	30,168,570	27,596,838	2,571,732	収 入 の 部 合 計	30,168,570	27,596,838	2,571,732

平成 21 年度役員

任期 (H21.4.1～H24.3.31)

役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)
教養幹事	高田日出太郎 (21)	会長	相田信次 (44・45)	顧問	西村美枝子 (22～24)
幹事	萩野新一郎 (21)	副会長	宮下公雄 (54～57)	顧問	中嶋信行 (23～25)
幹事	馬場康夫 (21・22)	副会長	横山雅人 (56～59)	顧問	奥田吉郎 (23～25)
幹事	清好一 (21～23)	副会長	濱田義之 (45)	顧問	瀬川一男 (23～25)
幹事	石垣義親 (21～23)	副会長	山田浩子 (41・42)	顧問	石川貞夫 (28・29)
幹事	小野真一 (21～23)	副会長	江本博勝 (46・47)	顧問	小椋貞夫 (28・29)
幹事	澤直和 (21～23)	副会長	山崎光義 (44・45)	顧問	角田義廣 (30・31)
幹事	滝川昇 (22・23)	副会長	金井美智子 (38・39)	顧問	平井千枝 (34・35)
幹事	高橋文吉 (22・23)	幹事長	弓場重明 (44・45)	顧問	高田菊平 (36)
幹事	堀井佳勇 (22・23)	常任幹事 <small>(庶務担当)</small>	田中由雄 (42・43)	顧問	柴田正 (41・42)
幹事	勝村一男 (22・23)	常任幹事 <small>(庶務担当)</small>	関野幹雄 (48・49)	顧問	小早川隆義 (42・43)
幹事	中島知之 (22・23)	常任幹事 <small>(会計担当)</small>	関野浩二 (57～60)		
幹事	溝口梅男 (22・23)	常任幹事 <small>(会計担当)</small>	山瀬匠 (08・09)	参考	渡辺洋子 (35・36)
幹事	中塩利雄 (22～24)	常任幹事 <small>(会計担当)</small>	瀬川晶子 (52・53)	参考	岩崎一雄 (43・44)
幹事	北條晃 (22～24)	常任幹事	金田豊 (23～25)	参考	佐野茂子 (36・37)
幹事	長田涉 (22～24)	常任幹事	白鳥義仁 (25・26)		
幹事	山内茂 (22～24)	常任幹事	田村実 (26・27)		
幹事	川口正信 (22～24)	常任幹事	鈴木義樹 (28・29)		
幹事	小林昭雄 (22～24)	常任幹事	市川紀子 (35・36)		
幹事	甲木康夫 (22～24)	常任幹事	土屋貞明 (42・43)		
幹事	木村幸夫 (23～25)	常任幹事	林田孝二 (43)		
幹事	小林栄三 (23～25)	常任幹事	山口良児 (43・44)		
幹事	勝俣敞充 (23～25)	常任幹事	平岩美知子 (44・45)		
幹事	森下菊美 (23～25)	常任幹事	久保田博明 (45・46)		
幹事	播本弘 (23～25)	常任幹事	遠藤晶子 (45・46)		
幹事	長谷川駿一 (23～25)	常任幹事	西野和衛 (46・47)		
幹事	徳増清二 (23～25)	常任幹事	瀬川宏 (47・48)		
幹事	石野進 (23～25)	常任幹事	神戸絹代 (47・48)		
幹事	石垣恭弘 (23～25)	常任幹事	鈴木允 (48)		
幹事	井上忠彦 (23～25)	常任幹事	大島裕二 (52・53)		
幹事	杉山吉房 (23～25)	常任幹事	露木ひろみ (53・54)		
幹事	服部房夫 (23～25)	常任幹事	斎藤聰 (54～57)		
幹事	浅海武夫 (23～25)	常任幹事	柳川浩昭 (54～57)		
幹事	石川進 (25・26)	常任幹事	高野真一 (54～57)		
幹事	矢澤知秋 (25・26)	常任幹事	松原裕二 (54～57)		
幹事	長倉祐作 (25・26)	常任幹事	小松徳弘 (56～59)		
幹事	宮崎茂樹 (25・26)	常任幹事	高野誠 (57～60)		
幹事	光信儔 (26・27)	常任幹事	山本宏治 (57～60)		
幹事	浅原好胤 (26・27)	常任幹事	勝又義博 (57～60)		
幹事	高橋英明 (26・27)	常任幹事	野田正人 (62・63)		
幹事	荒川通 (26・27)	常任幹事	久保和之 (63・01)		
幹事	塙田浩 (26・27)	常任幹事	廣岡達郎 (01～04)		
幹事	大井徹也 (26・27)	常任幹事	斎藤実 (01～04)		
幹事	稻葉昭 (26・27)	常任幹事	藤澤博隆 (03・04)		
幹事	熊崎文二 (26・27)	常任幹事	明石浩一 (05～09)		

役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)
幹事	南まり子(03・04)	幹事	岩崎尚枝(41・42)	幹事	輿水啓一(26・27)
幹事	小池恭子(04・05)	幹事	小永井京子(43・44)	幹事	廣田均(26・27)
幹事	白川美保(05・06)	幹事	高橋真理子(44・45)	幹事	栗原恒夫(26・27)
幹事	小柴慶子(06・07)	幹事	榎本睦美(46・47)	幹事	後藤守雄(26・27)
幹事	勝又美咲(16・17)	幹事	石井千枝子(45・46)	幹事	黒滝祐司(27・28)
商経・二部		幹事	松村啓子(51・52)	幹事	小林義尚(27・28)
幹事	村山要(30・31)	幹事	佐野有美(52・53)	幹事	田村栄一(27・28)
幹事	杉山敏明(34・35)	幹事	大塚久子(52・53)	幹事	関本文彦(27・28)
幹事	渡辺勝(38・39)	幹事	武田裕美(55・56)	幹事	真部喜孝(27・28)
幹事	久保田勝(38・39)	幹事	勝亦幾代(56・57)	幹事	結城勇一(27・28)
幹事	佐野勝己(39・40)	幹事	北川早苗(56・57)	幹事	長沢龍助(27・28)
幹事	勝谷哲雄(40・41)	幹事	山崎睦子(57・58)	幹事	佐々木凱男(27・28)
幹事	土屋忠得(40・41)	幹事	高野直美(58・59)	幹事	川崎一成(27・28)
幹事	渡辺忠昭(42・43)	幹事	阿部昭子(59・60)	幹事	丸山富美男(28)
幹事	鈴木正八(44・45)	幹事	神田留美子(60・61)	幹事	坂詰正衛(28・29)
幹事	津田正克(50・51)	幹事	稻葉桂子(60・61)	幹事	望月知林(28・29)
幹事	甲斐幸博(51・52)	幹事	橋本由恵(62・63)	幹事	安東安生(29・30)
幹事	甲斐忠則(51・52)	幹事	白石忍(63・1)	幹事	田嶋文義(29・30)
幹事	後藤善夫(52・53)	幹事	渡邊陽子(01・02)	幹事	寺崎哲郎(29・30)
幹事	加藤喜章(53・54)	幹事	高鹿真弓(03・04)	幹事	関哲男(29・30)
幹事	鈴木理平(54・55)	幹事	片柳容子(03・04)	幹事	林田達郎(29・30)
幹事	内野祥司(55・56)	幹事	秋山陽子(04・05)	幹事	森伸夫(30・31)
幹事	守野敏也(55・56)	幹事	松本佳代子(05・06)	幹事	道見俊廣(30・31)
幹事	山田良(55・56)	幹事	古屋美帆(06・07)	幹事	小野武(30・31)
幹事	杉山勝行(57・58)	幹事	小林昌子(07・08)	幹事	馬場妙子(30・31)
幹事	鈴木文量(59・60)	幹事	山崎幸恵(08・09)	幹事	屋鋪公平(30・31)
幹事	金城三十二(59・60)	幹事	佐野隆子(09・10)	幹事	堀幸男(30・31)
幹事	武井直子(60・61)	幹事	成島敦子(09・10)	幹事	根岸元宏(31・32)
幹事	土佐谷泰子(61・62)	幹事	星美保子(10・11)	幹事	渡部浩司(31・32)
幹事	田伏正和(01・02)	幹事	工藤美咲(10・11)	幹事	大村日出雄(32)
幹事	名雪しげみ(01・02)	商経・一部		幹事	甲田知由(33)
幹事	菅江稔(02・03)	幹事	萩野谷肇(41・42)	幹事	吉野洋一(35)
幹事	明石知恵美(02・03)	幹事	上田定義(41・42)	幹事	鈴木肇(35)
幹事	川原浩貴(03・04)	幹事	加藤久貴(46・47)	幹事	御供政紀(35・36)
幹事	小野和彥(03・04)	幹事	秋山稔明(46・47)	幹事	小澤文郎(36)
幹事	坂口聖剛(03・04)	幹事	前田正丈(47・48)	幹事	大西良雄(37)
幹事	今川高宏(04・05)	幹事	野田栄(47・48)	幹事	小川武司(37)
幹事	町野智彦(05・06)	幹事	多田清吾(47・48)	幹事	多田清太郎(37)
幹事	池田昌史(08・09)	幹事	辻本真由美(51・52)	幹事	坂口正剛(37)
幹事	成田伸行(08・09)	幹事	濱田順二(53・54)	幹事	小石川宣照(37)
桜栄会		幹事	吉川浩司(54・55)	幹事	勝亦誠(38)
幹事	山口玲子(34・35)	幹事	後藤幸江(58・59)	幹事	栗山康雄(39)
幹事	阿部麻子(35・36)	幹事	齋藤みどり(59・60)	幹事	杉田朋昭(39)
幹事	木崎有里子(35・36)	幹事	長澤裕子(59・60)	幹事	両角勇(42)
幹事	渡辺かよ子(35・36)	幹事	中村由美子(61・62)	幹事	高藤省三(49)
幹事	板垣和代(36・37)			幹事	滝本博(53)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	山口美樹(62・63)
幹	事	大須賀美穂(63・01)
幹	事	櫻田智栄美(63・1)
幹	事	三宅理砂子(63・1)
幹	事	野上香(63・1)
幹	事	日吉美由紀(63・1)
幹	事	勝俣千穂(01・02)
幹	事	高田香世子(01・02)
幹	事	田村尚子(01・02)
幹	事	杉村智恵(01・02)
幹	事	湯原里美(01・02)
幹	事	久保田裕子(01・02)
幹	事	市川智香(02・03)
幹	事	岡本ゆう子(02・03)
幹	事	大山妙子(02・03)
幹	事	羽田真理子(02・03)
幹	事	望月ゆりか(03・04)
幹	事	安田ひとみ(03・04)
幹	事	鈴木春美(03・04)
幹	事	西村直子(03・04)
幹	事	宮本久美子(03・04)
幹	事	渡邊真理子(03・04)
幹	事	小澤知子(04・05)
幹	事	出口幸子(04・05)
幹	事	井上雅代(04・05)
幹	事	西岡かおり(04・05)
幹	事	田村美保(04・05)
幹	事	原田愛(05・06)
幹	事	西山志保(05・06)
幹	事	関谷園子(05・06)
幹	事	渡邊千史(05・06)
幹	事	川口由美子(05・06)
幹	事	池谷尚美(05・06)
幹	事	中村理恵子(05・06)
幹	事	遠藤理愛(05・06)
幹	事	神尾かほり(06・07)
幹	事	遠藤里都美(06・07)
幹	事	鈴木寛子(06・07)
幹	事	山本静香(06・07)
幹	事	佐藤純子(06・07)
幹	事	三須洋美(06・07)
幹	事	齊藤真由美(07・08)
幹	事	和泉久美(07・08)
幹	事	小野澤美和(07・08)
幹	事	小林世以子(07・08)
幹	事	中林香子(07・08)
幹	事	宮澤正江(52・53)
幹	事	遠藤豊美(52・53)
幹	事	長谷川規子(52・53)
幹	事	松川順子(52・53)
幹	事	松崎光子(52・53)
幹	事	中澤小雪(53・54)
幹	事	齋藤裕子(53・54)
幹	事	長田智子(53・54)
幹	事	押見恵美子(53・54)
幹	事	船石圭子(53・54)
幹	事	四條里美(53・54)
幹	事	鷺巣かほる(53・54)
幹	事	藤原和美(54・55)
幹	事	原田純子(54・55)
幹	事	池谷美津子(54・55)
幹	事	中澤由利子(54・55)
幹	事	佐伯絵里子(54・55)
幹	事	伊藤若菜(54・55)
幹	事	吉田麻理子(55・56)
幹	事	野中美香(55・56)
幹	事	藤田建江(56・57)
幹	事	小澤里佳子(56・57)
幹	事	深津久美子(56・57)
幹	事	石谷美智子(57・58)
幹	事	田中恵子(57・58)
幹	事	嶋由樹子(57・58)
幹	事	鈴木江利子(57・58)
幹	事	西田昭子(58・59)
幹	事	鈴木敦子(58・59)
幹	事	武藤さゆり(58・59)
幹	事	荻沢洋子(58・59)
幹	事	平澤佳代子(58・59)
幹	事	山田明子(58・59)
幹	事	谷井かほる(58・59)
幹	事	鈴木佳乃(59・60)
幹	事	塩崎朝子(59・60)
幹	事	加藤容子(59・60)
幹	事	藤波佳乃(59・60)
幹	事	藤井由紀子(60・61)
幹	事	穂谷野弥生(60・61)
幹	事	小島みちよ(61・62)
幹	事	久保玲華(61・62)
幹	事	山下朋子(61・62)
幹	事	袴田則子(62・63)
幹	事	鷺尾貴子(62・63)
幹	事	田上順子(62・63)
幹	事	小泉陽子(36・37)
幹	事	中村満里子(37・38)
幹	事	川口裕子(37・38)
幹	事	米山日出子(37・38)
幹	事	小坂照子(38・39)
幹	事	塩谷まさよ(38・39)
幹	事	井原康恵(38・39)
幹	事	望月千登世(38・39)
幹	事	秋山幸子(39・40)
幹	事	関口瑞(39・40)
幹	事	福尾つや子(39・40)
幹	事	浅田義志子(39・40)
幹	事	神部文子(39・40)
幹	事	高橋美鶴(40・41)
幹	事	伊達伸子(40・41)
幹	事	石黒栄美子(41・42)
幹	事	鳥羽山資子(41・42)
幹	事	秋山悦子(41・42)
幹	事	渡辺あき子(41・42)
幹	事	嶋美也子(41・42)
幹	事	伊藝睦(41・42)
幹	事	駿藤春代(42・43)
幹	事	石原泰代(42・43)
幹	事	篠田光代(42・43)
幹	事	影山貴美枝(43・44)
幹	事	土屋時子(43・44)
幹	事	柴田敬子(44・45)
幹	事	川村千代子(45・46)
幹	事	辻緑(45・46)
幹	事	小林秀実(45・46)
幹	事	鈴木清美(46・47)
幹	事	佐藤奈津美(47・48)
幹	事	鈴木佳津江(47・48)
幹	事	神田みつ子(47・48)
幹	事	勝又昌代(48・49)
幹	事	原康子(48・49)
幹	事	碓井久美子(49・50)
幹	事	岩田智加子(50・51)
幹	事	大沼めぐみ(50・51)
幹	事	峰田富美子(51・52)
幹	事	山口智佳子(51・52)
幹	事	堤令子(52・53)
幹	事	白井道代(52・53)
幹	事	石橋治代(52・53)
幹	事	岩崎美浪(52・53)
幹	事	竹内厚子(52・53)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	島田雷太(44・45)	幹	事	渡邊裕未(15・16)	幹	事	水谷鯉恵(07・08)
幹	事	早川清文(45・46)	幹	事	山田沙織(15・16)	幹	事	横田忍(07・08)
幹	事	三枝和彦(46・47)	幹	事	宇野浩吏(16・17)	幹	事	中橋智子(08・09)
幹	事	勝間田太住(47・48)	幹	事	星野成幸(16・17)	幹	事	神戸アリ沙(08・09)
幹	事	天野寿一(48・49)	幹	事	渡邊尚(16・17)	幹	事	兼房華(08・09)
幹	事	上原豊和(52・53)	幹	事	木下友理(16・17)	幹	事	長倉智恵子(08・09)
幹	事	西家勝彦(52・53)	幹	事	鈴木佳奈子(16・17)	幹	事	大塚由香(08・09)
幹	事	埜村光伸(53・54)	幹	事	中西麻純(16・17)	幹	事	佐藤美幸(09・10)
幹	事	勝呂千明(53・54)	幹	事	増島清美(16・17)	幹	事	大水由佳(09・10)
幹	事	鈴木啓太郎(54・55)	幹	事	萩原美香(16・17)	幹	事	田村理絵(09・10)
学部			幹	事	平川綾乃(16・17)	幹	事	内田惠(09・10)
幹	事	遠藤日出夫(37)	幹	事	綾部久美子(16・17)	幹	事	渡邊明子(09・10)
幹	事	渡辺博夫(37)	幹	事	松永理沙(16・17)	幹	事	植野敦子(09・10)
幹	事	江川洋(42)	幹	事	飯田泰恵(17・18)	幹	事	佐野文美(10・11)
幹	事	藤幡俊量(46)	幹	事	石川裕里佳(17・18)	幹	事	秋山左知子(11・12)
国際			幹	事	田顔朋美(17・18)	幹	事	鞍本鮎美(11・12)
幹	事	川口智彦(54~57)	幹	事	田中沙季(17・18)	幹	事	尾間裕仁(11・12)
幹	事	諫訪部健(55~58)	幹	事	堀田裕貴(17・18)	幹	事	笠原奈津子(11・12)
幹	事	木村貴美和(55~58)	幹	事	吉田ルミ(17・18)	幹	事	宮田朋子(11・12)
幹	事	平野雅之(56~59)	幹	事	井形歩(17・18)	幹	事	田角典子(12・13)
幹	事	福田勝弘(56~59)	幹	事	瀧智草(17・18)	幹	事	小林由佳(12・13)
幹	事	宇田隆康(56~59)	幹	事	隅田優美(17・18)	幹	事	赤川智海(12・13)
幹	事	齋藤史男(56~59)	幹	事	岩代美貴(18・19)	幹	事	小出祐子(12・13)
幹	事	三浦仁(57~60)	幹	事	加藤未奈(18・19)	幹	事	峯松園美(13・14)
幹	事	横田正(57~60)	幹	事	深谷友香里(18・19)	幹	事	山田美穂(13・14)
幹	事	森田克彦(58~61)	幹	事	豊田彩香(18・19)	幹	事	遠藤友海(13・14)
幹	事	佐上菊二(58~61)	幹	事	野口明日香(18・19)	幹	事	清水磨希子(13・14)
幹	事	小塙敏久(58~61)	幹	事	藤井里奈(18・19)	幹	事	高橋由実(13・14)
幹	事	横溝泰蔵(59~62)	幹	事	松井志保美(18・19)	幹	事	米永寿子(13・14)
幹	事	池尻敏広(59~62)	幹	事	萬両美幸(18・19)	幹	事	渡邊晃子(13・14)
幹	事	山田竜作(60~63)	幹	事	福島健嗣(18・19)	幹	事	岩田直子(14・15)
幹	事	土田洋二(60~63)	幹	事	村松海(18・19)	幹	事	大沼秋桜子(14・15)
幹	事	桑原健治(60~63)	幹	事	富井映里(19・20)	幹	事	高橋美絵子(14・15)
幹	事	渡辺武一郎(60~63)	幹	事	木下涼平(19・20)	幹	事	石渡麻史(14・15)
幹	事	木俣かおり(61~01)	幹	事	中安美咲(19・20)	幹	事	服部直美(14・15)
幹	事	増原伸一(61~01)	幹	事	藤井ゆかり(19・20)	幹	事	秋山絵操(14・15)
幹	事	犬塚重暁(63~03)	幹	事	山本靖子(19・20)	幹	事	山田真理子(15・16)
幹	事	野口厚(63~03)	幹	事	三宅ひとみ(19・20)	幹	事	田中順子(15・16)
幹	事	藤田隆(63~03)	工科			幹	事	栗田裕子(15・16)
幹	事	佐藤淳悦(01~04)	幹	事	宮下正俊(39・40)	幹	事	小林久美(15・16)
幹	事	高橋博樹(01~04)	幹	事	菅沼弘(39・40)	幹	事	河原崎朱里(15・16)
幹	事	長谷川哲夫(01~04)	幹	事	中山義昭(41・42)	幹	事	平澤怜子(15・16)
幹	事	村上東洋男(01~04)	幹	事	渡辺清(42・43)	幹	事	榎原友希(15・16)
幹	事	須田啓一郎(01~04)	幹	事	赤地哲也(42・43)	幹	事	田村美沙子(15・16)
幹	事	原田恭平(01~04)	幹	事	吉田力(44・45)	幹	事	植松明菜(15・16)
幹	事	椿昌宏(01~04)	幹	事	長倉良幸(44・45)	幹	事	荻島宏予(15・16)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	筒井友恵(13~16)
幹	事	本多加奈(13~16)
幹	事	山本彩子(13~16)
幹	事	小栗美緒(13~16)
幹	事	勅使河原武史(13~16)
幹	事	相見大輔(13~16)
幹	事	板橋紗綾香(13~16)
幹	事	武田泰弘(13~16)
幹	事	浅石友里子(13~16)
幹	事	渡邊頌子(13~16)
幹	事	岩崎康全(13~16)
幹	事	網島昇(14~17)
幹	事	塚田泰章(14~17)
幹	事	杉町カウエ(14~17)
幹	事	小川淳(14~17)
幹	事	内村彩(14~17)
幹	事	渡邊賢治(14~17)
幹	事	藁谷和正(17~18)
幹	事	井所博志(15~18)
幹	事	金田亜由美(15~18)
幹	事	橋本流音(15~18)
幹	事	小倉宏紀(15~18)
幹	事	宮腰治憲(15~18)
幹	事	田野口皓太(15~18)
幹	事	室伏弘己(15~18)
幹	事	菅家奈都美(15~18)
幹	事	宮本卓技(15~18)
幹	事	岩井小百合(16~19)
幹	事	鈴木弘明(16~19)
幹	事	竹川光一朗(16~19)
幹	事	長谷川翼(16~19)
幹	事	黒子佳恵(16~19)
幹	事	大森未奈子(16~19)
幹	事	笠倉諒(16~19)
幹	事	浅井啓悟(17~20)
幹	事	芹沢崇(17~20)
幹	事	関谷紀志(17~20)
幹	事	長谷川孝洋(17~20)
幹	事	勝呂孝(17~20)
幹	事	中島由人(17~20)
幹	事	羽田弥咲(17~20)
幹	事	篠原直人(17~20)
幹	事	笠原菜央子(17~20)
幹	事	高橋絵理(17~20)
幹	事	古山結子(17~20)
幹	事	川合貴子(09~12)
幹	事	井上明子(09~12)
幹	事	徳田瑞希(09~12)
幹	事	斎藤真規(10~13)
幹	事	長岡福也(10~13)
幹	事	上西智史(10~13)
幹	事	筒井靖子(10~13)
幹	事	杉山祥啓(10~13)
幹	事	渡辺梓(10~13)
幹	事	大津留真紀(10~13)
幹	事	大友仁美(10~13)
幹	事	佐野京子(12~13)
幹	事	鈴木亜希子(12~13)
幹	事	園部真子(12~13)
幹	事	長谷川郁子(11~14)
幹	事	松下夏葉(11~14)
幹	事	竹腰真裕子(11~14)
幹	事	後藤暢宏(11~14)
幹	事	竹村直(11~14)
幹	事	木下真由美(11~14)
幹	事	小森美雪(11~14)
幹	事	若月朋子(11~14)
幹	事	杉野美紀(11~14)
幹	事	斎藤久美絵(11~14)
幹	事	川村友江(11~14)
幹	事	猪狩博織(11~14)
幹	事	山下政幸(11~14)
幹	事	小林久美(11~14)
幹	事	堀本晴子(11~14)
幹	事	鈴木さや夏(13~14)
幹	事	村山景子(13~14)
幹	事	川下知恵(12~15)
幹	事	鹿内隼人(12~15)
幹	事	斎藤慎亮(12~15)
幹	事	山本克幸(12~15)
幹	事	川居多希子(12~15)
幹	事	拓植由美子(12~15)
幹	事	豊永有美子(12~15)
幹	事	原順子(12~15)
幹	事	平野文星(14~15)
幹	事	小澤有礼(12~15)
幹	事	大野達男(12~15)
幹	事	太田孝一(13~16)
幹	事	高巣幸喜(13~16)
幹	事	山川利雄(13~16)
幹	事	浅野雄介(13~16)
幹	事	南敦子(02~05)
幹	事	門脇正明(02~05)
幹	事	藤原誠吾(02~05)
幹	事	前田智也(02~05)
幹	事	坂井利彰(02~05)
幹	事	小田純子(02~05)
幹	事	田辺裕司(02~05)
幹	事	田松正樹(02~05)
幹	事	西岡昌仁(02~05)
幹	事	鎌田文一(02~05)
幹	事	沼尻正則(03~06)
幹	事	若松はるか(03~06)
幹	事	三宅大介(03~06)
幹	事	清水建(03~06)
幹	事	小塙達郎(03~06)
幹	事	紅林美智子(03~07)
幹	事	佐藤治夫(04~07)
幹	事	千野琢磨(04~07)
幹	事	日宇功太(04~07)
幹	事	渡辺将之(04~07)
幹	事	杉山文予(05~08)
幹	事	江島照美(05~08)
幹	事	室伏寛美(05~08)
幹	事	田尻美三(05~08)
幹	事	青木徹(05~08)
幹	事	大嶽龍一(05~08)
幹	事	沖倉保宏(06~09)
幹	事	今川慶(06~09)
幹	事	田中智康(06~09)
幹	事	久芳仁(06~09)
幹	事	植松信二(06~09)
幹	事	小林寿成(07~10)
幹	事	望月雅子(07~10)
幹	事	斎藤美根子(07~10)
幹	事	纏纏健太郎(07~10)
幹	事	佐竹篤(07~10)
幹	事	小泉梨恵(07~10)
幹	事	高島寛幸(08~11)
幹	事	正木創一(08~11)
幹	事	関根大助(08~11)
幹	事	井上善史(08~11)
幹	事	登ヶ谷祐人(08~11)
幹	事	金子浩二(08~11)
幹	事	内田修(08~11)
幹	事	成田哲浩(09~12)
幹	事	八木美由紀(09~12)

校友会だより

總
會

-

から校友会会員名簿の収集と管理、
三島駅北口校舎新築に伴い校友会室
の確保及び事務局員の採用並びに校
友会主催による記念事業の検討、桜
栄会への補助金額増額の検討等提案
がなされ閉会とした。

総会終了後、懇親会を開催した。田
中由雄幹事長の司会で進行され、校歌
斉唱に始まり間信次会長挨拶の後、來
賓挨拶として石井進副総長・鈴木彰一
校友会本部事務局事務長の祝辞があつ
た。来賓紹介の後、秋山正国際関係学部
事務局長による乾杯の挨拶のご発声で
懇談に移つた。イングリッシュペルシ
エリーによるハンドベルミニコンサート
トが開催された。鈴木允常任幹事の指
揮のもと応援歌・日大節となり、江本博
勝副会长より万歳三唱で閉会となつた。

桜
栄
会

本年度は平成二十一年六月十四日(日)に第四十九回総会が日本大学国際関係学部十五号館で開かれました。今年は恒例の講演会に加えて、シャンソン歌手の上原淳子氏をお迎えし、コンサートを行いました。懐かしい「バラ色の人生」などを情感豊かに歌い上げて下さり、思い出に浸りながら心地よい時間過ごすことが出来ました。その後行われた懇親会では、当番期を含む役九十名の会員、佐藤三武朗国際関係学部長を中心とした。久しぶりにお会いした先生方と卒業生は、目の前に広がる富士山の絶景を見ながら、お話をつきないご様子で和やかな会となりました。



桜栄会



国際関係学部同窓会

日本大学国際関係学部校友会会則

第一章 総 則

(名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

(事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

第二章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

第三章 会 員

(会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部三島・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に関係が深く功労があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部(大学院含む)・短期大学部三島の在学生。但し議決権は有しない準会員により構成する。

(会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徴収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

第四章 役 員

(役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会長 1名
副会長 若干名
幹事長 1名
常任幹事 若干名
幹事 若干名
会計監査 2名

(顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

(役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

(任 期)

第10条 各役員の任期は3年とする。但し再任は妨げない。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

(役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

第五章 会 議

(会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代わることができる。

(会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

(総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

1 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

2 事業計画に関する事項。

3 予算・決算に関する事項。

4 会長の選任に関する事項。

5 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

第六章 支 部

(支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

第七章 会 計

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

(会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

第八章 会 則

(会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

(会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

(施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

第九条 表 彰

(表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

第十章 除 名

(会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

1 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

2 校友会の秩序を乱したとき。

3 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成18年4月1日より施行する。

日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
東京都第六・東京都第七)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会

海外特別支部(7 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク

日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

三島予科
三島教養部
文理学部(三島)

短期大学部
桜文会(国文・英文)
商科同窓会(1・2部)
桜栄会(家政・食栄・生活)
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会